

ちびっこカレー

作 中野 守 (中野劇団)

登場人物

父

母

娘

女給

幼児 (声)

カレー屋。若い父母、幼稚園児くらいの娘の三人家族の席。メニューを見ている。

母 これ美味しそうやん。これにする？
娘 これにする。

女給がやってくる。

女給 お決まりでしょうか？
父 塩タンカレーの三百 (グラム)。
女給 辛さは？
父 2辛。
母 シーフードカレーでトッピングがチーズとあと、ちびっこカレー。
女給 シーフードカレーのご飯の量は普通でよろしかったですか。

母 はい。

女給 辛さは？

母 甘口で。

女給 以上でよろしかったですか？

母 はい。

女給 では、メニューをお下げします。ご注文の方、後ほど繰り返させていただきます。

厨房へ消える女給。

父 何で後ほどやねん…。

母 やっぱり三百にすればよかったかなあ。

父 こないだもそんなこと言うて、頼んで、二百にしとけばよかったって言うてたやん。そうやねんけどね。

母

厨房から幼児の泣き声が聞こえてくる。

幼児声 もう嫌やあ！

女給声 何言うてんの。頑張って最後まで作り！

幼児声 うわーん！

家族 …。

女給声 そんな大きい声で泣いたら聞こえるでしょ！ ほらもう、お客さん、待ってるから。鼻くそ入れたらあかんやんか！

幼児声 ミニカー買ってくれな作らへん！

女給声 こないだ買ってあげたやないの！

幼児声 もう一個ほしいの！

女給声 ほんなら今度の日曜日買ってあげるから。

幼児声 今買って！

女給声 今は無理でしょ！

幼児声 絶対日曜日に買ってや。

女給声 買います。ほら、もうちょっと綺麗に盛って。

幼児声 綺麗やんか。

女給声 お客さんに出すんでしょ。ちょっと！そんなん刺したら食べられへんやないの！

この写真の通りに作るの！

幼児声 同じやんか！ うわーん！

女給声 もう、わかったから。わかったから。いい？

これでもいい？ 持ってくよ。

静かになる厨房。厨房から出て来る女給。

女給 お待たせしました。こちら、ちびっこカレーになります。

娘の前に置かれたのは、メニューの写真通りのちびっこカレー。

父母 ええ？

女給 …と、こちら、翔太ちゃんカレーの三百です。

父の前に無邪気さ満点のカレーを置き、下がるうとする女給。

父 ちよちよちよ！

女給 はい。

父 何これ？

女給 え？ 三百って伺いましたけど？

父 じゃなくて、塩タンカレー頼んだんですけど。

女給 え？ 翔太ちゃんカレーですよ。

父 いやいや、塩タンカレー。

女給 ああ、すみません。すぐ作り直しますので。

翔太ちゃんカレーを下げ、厨房に消える女給。

父 翔太ちゃんカレーって…。

娘 滑舌悪いからやん。

父 …いやいや、その前に、何であるねん、あんなメニュー。何で滑舌なんて知ってんの…。

メニューの写真を確認する父母。

母 これ、タン塩カレーやん。

父 え？

母 ほら。タン塩やのに塩タンって言うから間違えたんやわ。

父 ええ？ そうか？

幼児声 何で持って帰って来るんよ！ うわーん！
家族 …。

ひとりもくもくとちびっこカレーを食べる娘。終わり。